

## 南仏治安情報（8月分）

### ●テロ、反社会的活動、大規模デモ（邦人被害なし）

#### （1）ピレネー・オリアンタル県タルブ他における、聖戦志願者の拘束

19日、タルブ及びリヨンにおいて15歳、17歳の若者がシリアのジハード地域への侵入を図った疑いにより仏当局に拘束された。

#### （2）ニースにおける聖戦リクルーターの検挙と志願者の拘束

30日、16歳の少女をニース空港からトルコ経由でシリア入りさせようとした22歳の男が、聖戦兵士を募集した容疑で逮捕された。少女は警察によって出国を阻止された。

#### （3）タルヌ県 Lisle-sur-Tarn 近郊発生、ダム建設反対者による暴動事件

8月下旬、ダム建設予定地の森にて、同建設に反対する集団10数名が過激化し、同所を警戒していた憲兵隊に対して火炎瓶80本を投げつけた。同ダム建設に関しては昨年1月から反対派が抗議活動を行っており、最近になって抗議の度合いが強まってきたことから憲兵隊が配置されるようになっていた。

### ●殺人（邦人被害なし）

#### （1）ニース発生、喧嘩による殺人及び傷害事件

3日未明、海岸沿いの歩道プロムナード・デ・ザングレで通行人同士3対2の喧嘩が始まり、最終的に2人組の1名が死亡、1名が重傷を負った。目撃情報により、警察は3人組を逮捕した。

#### （2）オートコルス県 Urtaca 発生、殺人事件

17日朝、村から3kmほど離れた所にあった車の傍から30歳男性の遺体が発見された。遺体には複数の銃弾が撃ち込まれており、また被害者が犯罪組織に属することから、警察はコルシカ島で本年9件目となる対立抗争による殺人事件とみて捜査を進めている。

#### （3）トゥールーズ周辺発生、対立抗争とみられる殺人事件（2件）

16日、トゥールーズ近郊のボーゼルにて、29歳男性が自宅前で何者かの銃撃を受けて殺害された。被害者は以前殺人未遂容疑で逮捕された（証拠不十分で釈放）ことのある者であった。

17日にはトゥールーズ市内ミライユ地区で24歳男性が殺害された。この被害者にも犯罪集団所属・麻薬取引等の犯歴があった。

トゥールーズ周辺では昨年12月から麻薬密売関連での報復により4名が殺害されており、捜査関係者は同市治安の「マルセイユ化」を懸念している。

#### （4）モンペリエ発生、殺人事件

23日夜、市の南部で2名が殺害された。目撃情報によると、建物入口にたむろしていた若者2名に対し、別の若者が因縁を付け1名を射殺した。もう1名が犯人から銃を奪ったところ犯人は一旦逃走したが、直後に別の銃でもう1名を射殺した。被害者2名は麻薬密売人として警察にマークされていた人物であり、対立抗争による殺人事件とみられ、同地域でも「マルセイユ化」が危惧されている。

(5) マルセイユ発生、喧嘩による殺人事件

31日早朝、1区オペラ地区のディスコ前で男3名による喧嘩が始まり、そのうち1名(22歳男性)がナイフで刺され、数時間後に搬送先病院で亡くなった。

●強盗(邦人被害なし)

(1) ニース発生、清掃作業員に対する路上強盗事件

10日早朝、旧市街で清掃業務を行っていた53歳の市職員が、突如車から降りてきた男2名にハンマーで頭を殴られた。犯人らは倒れた市職員が持っていたスマートフォンを奪って逃走した。

(2) マルセイユ発生、衣料品店を狙った強盗事件

12日夜、11区にある商業施設グラン・リトラル内の衣料品店「PRIMARK」に3人組の武装強盗が押し入り、閉店作業中の従業員を脅してレジ及び金庫を開けさせ、4万ユーロを奪い逃走した。

(3) エロー県ベズィエ発生、スーパーを狙った強盗事件

14日朝方、スーパー「モノプリ」の従業員2名が出勤し開店準備をしていたところ、2人組の強盗が店に押し入り、テザー銃(射出式スタンガン)を押し当て暴力を振るった。店の金庫を開けさせることができなかった犯人らは、店員らの所持品を奪いエレベータ内に閉じ込めた上で逃走した。店員は重傷を負ったが、命に別状はなかった。

(4) ラ・シオタ発生、高速道路管理事務所を狙った強盗事件

18日早朝、高速道路管理事務所で宿直勤務員と交代するべく別の職員が出勤したタイミングを狙い、3人組の武装強盗の乗る車がゲートを通り抜け事務所に侵入し、職員を脅して週末に集金した高速道路使用料10万ユーロを奪って逃走した。

(5) ロット県ジニャック発生、民家を狙った強盗未遂事件

18日深夜、覆面をした4人組の男が一戸建住宅に押し入り、刃物で一家4人を脅しつけ金品を要求した。幸い、隣人が騒ぎを聞きつけ駆け付けたことから犯人らは慌てて車で逃走した。この事件で父親が手に傷を負ったが命に別状はなかった。

(6) マルセイユ発生、スーパー駐車場内での強盗事件

23日午前中、13区にあるスーパー「カジノ」駐車場で、10代男性が車を駐めたところ、10代の男3名が現れ、偽物のけん銃を示して車を脅し取った。翌日未明、警察が奪われた車を発見したが、犯人らの逃走途中で壁に衝突して大破した。当局によると最近、若者によるこういった「遊び感覚の犯罪」が増加しているとのことである。

(7) マルティエグ近郊発生、ガソリンスタンドでの強盗事件

24日夜、マルティエグ近郊にあるガソリンスタンドに銃を持った男が現れ、給油中の男性を脅しつけ同人の車に乗って逃走した。しかしその2時間後、マルセイユ16区レストックにて検問に引っ掛かり、犯人が警察官と通行人を轢いてさらに逃走を企てたことから警官に射殺された。犯人は粗暴犯として犯罪歴のある者であった。

●性犯罪（邦人被害なし）

（１）ニース発生、駅付近での強姦事件

11日夜、ニース駅付近でエリトリア人女性がモロッコ人男に強姦される事件が発生した。被害者は1ヶ月前に夫とともに祖国からの亡命を図って南仏入りしていたところであり、親切を装い近づいてきた犯人の犠牲となった。犯人は後日逮捕された。

●傷害（邦人被害なし）

（１）フォス・シュル・メール発生、傷害事件

1日朝方、ロータリー式交差点内に1台の車が停まり、その脇で19歳男性が血まみれになって倒れているのが発見された。男性はナイフで胸部を刺されており、病院に緊急搬送された。警察の捜査により、被害者を刺した男の乗っていた車の色型が判明し、本件が交通事故に端を発する傷害事件と認定されたが、犯人逮捕には至っていない。

（２）マルセイユ発生、喧嘩による傷害事件

1日未明、6区 La Plaine のバー前で男2名の喧嘩が始まり、片方の男が小口径の銃を抜いたことからもう一方の男は慌てて店内へ逃走を図ったが、脇腹を撃たれ負傷した。命には別状なし。犯人は逃走した。

（３）マルセイユ発生、無差別狙撃事件

7月29日の昼間及び31日夜間、5区サン・ピエール通りを通行する人々が銃で撃たれる事件が発生した。犯人はこの通り上にあるアパートから狙撃しているとみられている。

（４）マルセイユ発生、傷害事件

7日午後、8区ヴィエイユ・シャペル地区の路上で16歳の少年が何者かに銃で撃たれ負傷した。後に犯人が逮捕され、本件発生原因が「少年が自分のスクーターを物色していた」ため口論となり、激高した犯人が自宅までけん銃を取りに戻り少年を撃ったものと判明した。

（５）コルシカ島バステリア発生、誤射とみられる銃撃事件

9日、海水浴場を訪れていたベルギー人女性がライフル銃で腕を撃たれた。着弾角度から、犯人が現場から1~2キロ離れた市街地からライフルを撃ったとみられており、警察は本件犯行が被害者女性を特に狙ったものではないとしつつ犯人特定のため捜査を開始した。

（６）マルセイユ発生、流しの犯行とみられる銃撃事件

13日夜、47歳男性が15区にある自宅近くの Honorine 通りで何者かに脚を撃たれた。警察は今回の事件につき、被害者に犯歴等もないことから、マルセイユで頻繁に発生している対立抗争とは異なるとの見解を示して犯人特定に当たっている。

（７）アヴィニョン発生、人だかりでの銃乱射事件

30日深夜、Gabriel-Biron 通りで男2名が突然銃を乱射し、居合わせた2名を負傷させた。事件当時現場には50名程度の通行人等がいた。

## ●薬物関連

### (1) ピレネー・オリアンタル県ペルピニャン警察官の証拠薬物窃盗事件

2日、パリ警視庁本部内から証拠品のコカイン5.2kgを盗んだ容疑で、ペルピニャン警察の警察官2名が逮捕された。

### (2) トゥールーズ郊外における、運び屋の検挙

8日昼頃、警察はトゥールーズ方面に車を走らせていた男3名に対する職務質問を実施し、車内から大麻300kg以上を発見・押収した。この男らは「ゴー・ファスト」と呼ばれる麻薬の運び屋を営んでおり、その場で逮捕された。

## ●その他特異事件（邦人被害なし）

### (1) ニース発生、新手口の詐欺事件

このほど、ニース市内のアパートが第三者によって勝手に貸し出される事件が発生した。これは、犯人がアパート各部屋の玄関ドアにテープを貼り付け住人の長期不在確認をし、玄関扉の錠前を壊して新しい物に交換した上で家主を装いインターネットで借り主を見つけるという手口であり、同じ手口被害が2件認知されている。

本件はアパート隣人が不審に思ったことから発覚したが、この部屋に引っ越してきた者は犯人との（偽）契約を交わし賃貸料を支払った「善意の第三者」であり、また仏では不法占拠であっても48時間が経過すると強制的に退去させることができないことから、犯人追跡と併せて被害回復も難しい状況となっている。

### (2) マルセイユにおける、通貨偽造犯人の検挙

5日夜、警察当局は匿名の通報により、4区 Chartreux 通りにあるアパート一室にある通貨偽造現場に対する捜索を実施した。その結果、偽札57,000ユーロを発見・押収し、正に偽札の製造中であった20代の男3名を逮捕した。

### (3) アヴェロン県 Vabres-l'Abbaye 発生、多数の羊窃盗とその顛末

7日未明、窃盗団が農協に侵入し、206頭の羊を盗み出しトラックで逃走した。しかしその後トラックの荷台が傾き走行不能となったことから、犯人らは証拠隠滅のため羊ごとトラックを燃やし、これにより100頭の羊を死亡させた。

### (4) マルセイユ周辺における、失踪事案の頻発

8月上旬までの2ヶ月間において、マルセイユ周辺だけで10代の少女2名、20代男性1名、30代女性1名が失踪する事案が発生している。いずれのケースについても失踪の原因が本人の意思によるものか否かは不明であるが、仏国内では毎年5万人以上の失踪者（家出人・自殺企図者を含む）が出ており、そのうち約1割が事件や遺体で発見されている現状にある。なお、この報道の1週間後、4名のうちの1名が遺体で発見され、遺体周辺の状況から自殺と認定された。また失踪報道の2週間後には別の1名（14歳少女）がマルセイユ北地区を徘徊しているところを発見・保護されている。

### (5) ヴイトロール発生、少年偽警官の出没

9日夜、少年3名が悪戯心から警察官のコスチュームを着て偽パトロールを実施した。職務質問を受けた車のドライバーが不審に思い警察に通報した結果、少年ら

は駆けつけた本物の警官に取り押さえられた。少年らが所持していたけん銃も偽物であった。

(6) スペイン国境地域発生、格安バス会社の法律違反による利用者の受難

本年6月、格安バス会社である「メガバス社」がトゥールーズ～バルセロナ路線に新規参入し話題を呼んだが、8月9日夕方にスペイン官憲が国境付近で同社バスに対する立ち入り検査を行ったところ、運転手が運行記録に記された者と別人であり、また定められた交代要員がいないことが判明した。これにより運転手は警察に拘束され、同社が次善の策を講じなかったことから乗客80名がサービスエリアに置き去りとなった。

(7) アルプ・マリタイム県 La Turbie における、違法難民の発見とブローカーの検挙

7日、イタリア国境において治安官憲がトラック内に隠れて乗っていた11名のパレスチナ人と7名のシリア人を発見した。彼らが違法難民であることから、運転手はブローカーとして逮捕され、移民はイタリアに帰された。

(8) オート・コルス県発生、憲兵隊員の情報漏洩

この度内部告発により、コルシカ島の憲兵隊調査部門に所属する者数名が、10年間に渡り内部情報（個人情報）を部外者に漏洩していたことが明らかになった。

(9) アルプ・マリタイム県ヴァロリス発生、銃乱射による建物損壊事件

11日深夜、閑静な住宅内に何者かが乱射したカラシニコフの掃射音が鳴り響いた。狙われたのは同地区内の邸宅で、同壁面には20発もの銃痕が残っていた。警察は犯人の動機を含め捜査を開始した。

(10) 仏国内の刑務所不足：代替施策（GPSによる追跡システム）の欠陥

刑務所の収容コスト問題を理由に、脚部にGPSシステムを装着させられながら生活している受刑者が仏国内に13,500名存在する。しかし、このシステムは故障により現在地を特定できなくなる現象が頻発しており、四六時中彼らの動向を監視することが困難であることを物語っている。

(11) ネット犯罪：新聞社に対するサイバー攻撃の発覚

イスラエル南部在住のハッカーが、マルセイユの共産主義新聞HPに対してサイバー攻撃を仕掛けた。同サイトは閉鎖に追い込まれ、警察に被害届を提出した。このハッカーは他にも反資本主義新党、ニュースサイトを攻撃していた。

(12) モンペリエ発生、市役所侵入窃盗事件

15日未明、何者かが市役所内に侵入し、結婚披露宴会場ホールや執務室を物色し現金1,000ユーロ等を窃取した。

(13) エクサン・プロヴァンス～ガルダンヌ間発生、特異交通人身事故

23日にマルティエグの少年院から逃走した少年2名（15歳と16歳）が、27日未明に盗んだ車を運転していたところ、出勤途中の23歳パン職人の運転していた車を巻き込んで事故を起こし、同人を即死させた。少年らも複雑骨折を負い、病院に搬送された。なお、車内には少年らと逃避行していたとみられる少女2名も乗っていたが、彼女らは軽傷で済んだ。本年1月にはマルセイユ市内の少年院から逃走した16歳少年が殺人と強姦事件を起こしており、今回の件を含め矯正施設の管理体制及び矯正能力を疑問視する声が上がっている。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報を基にまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。